

【様式 2】

平成 13 年度 授業実践結果

学校名：伊自良村立伊自良中学校

授業者等	授業日	平成 14 年 1 月 17 日	学 年	2 学年
	授業者	林 佳子	教 科	英語
	校 種	小・(中)・高・特	単 元	Konrad Lorenz , A Mother to Birds
	ねらい	教科書から、新出の英単語を探し、インターネットを利用した調べ学習ができる。また、英単語や英文を入力することで関心意欲を高めることができる。		
授業の流れ	1. 新しい単元に入るはじめての授業であることを理解する。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【課題】 新出単語を調べよう。</p> </div> <p>2. 意味がわからない単語、発音できない単語を選び出しチェックする。</p> <p>3. 選び出した単語について、インターネットに接続し検索を行う。</p> <p>あらかじめ、技術・家庭科の授業でつくられている自分のリンク集を開き作業に入る。 リンクさせてある辞書は 2 つあり、検索サイトは以下のサイトで行った。 パニ英和辞典 (http://www.linklinklink.ne.jp/dic.htm) goo 便利ツール「辞典」(http://dictionary.goo.ne.jp)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語を入力し、検索をかける。 ・文章にあった意味を選び出し、ノートに書き留める。 ・発音がわからないものについて、コンピュータに発音させる。 			
考察	<p>4. 次の授業内容について触れる。</p> <p>自分のリンク集に検索サイトを登録させてあるために、スムーズに検索サイトにアクセスすることができた。 発音記号が読めなくても、コンピュータが発音するために、「発音してください。」と頼むこともなく、発音を自ら学ぶことができる。発音できずに済んできた単語を学習できる。 画面に入力するだけで意味が出力されるため、“探す”という手間を省くことができるが、単語を覚えるというところからすれば、長い時間単語を思い浮かべるため学習になるのではないかと思われる。 画面に出てくる意味が多いため、文章に適合する意味を選ぶことができない。 単語の入力ミスによるエラーがあり、「意味載ってないよ」と質問することがある。 本の辞書すら引くことが難しい子どもにとっては、文字を入力するだけで検索ができることは有効であったが、熟語の検索は難しかった。In this way などのように、どの単語を調べればよいのかがわからないという問題もあった。 全体として、調べ学習において、本かネットのどちらが有効というわけではなく、その場にあった道具の活用ということを考えれば、発音をききたい子どもにとっては、ネット、紙の辞書だけで十分かつ速いという子どもにとっては、普通の辞書と多様化した使い方がよいかと考えました。</p>			